



第 21 図

よび変態過程の反応速度論的研究のために使用していますが、この方法では恒温試験において単位時間当り発生熱量を時間の函数として測定されます。この試験はしばしば膨脹計による測定あるいは抵抗測定で得られるものよりもさらに広い叙述をすることが出来ます。

最後に固体物理学にとっては原子炉に関連して多くの新しい問題が提起されており、これらは新しいプロセスを要求していますが、これらは目下発展中です。

(訳者 八幡製鉄・森)

第2回日本アイソトープ会議報文集並びに 第2回原子カシンポジウム報文集の刊行

去る2月開催された第2回日本アイソトープ会議および第2回原子カシンポジウムの全容を収録した標記の2報文集が下記要領によつて刊行されましたので御案内致します。印刷部数に限度がありますので御希望の方は早目に下記申込先へ御注文下さい。

記

1. 第1回日本アイソトープ会議報文集

全1冊 頒価 2500円

B5判; 本文 635頁, 関係会社紹介 56頁

内容: 医学 40編, 工学 22編, 農学 20編, 理学 10編, 生物学 8編,
安全防護 17編, 放射線化 6編, 計 123編

2. 第2回原子カシンポジウム報文集

全4冊 頒価 4,800円

B5判, 総頁 1,028頁 写真図版 1,600枚

分冊頒価

第1分冊: 総目次・著者索引・総合講演・討論 (71頁) 450円
第2 〃 物理・原子炉関係 (343頁) 1,750円
第3 〃 化学材料関係 (319頁) 1,350円
第4 〃 放射線の測定と応用 (291頁) 1,250円

注文申込先 東京都港区芝田村町1~1 日本原子力産業会議